

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 12 月 1 日

事業所名 コペルプラス川崎東口 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・定員に対し、定められた指導訓練室の面積を維持するよう配慮しています。	・利用者様が安心、安全にすごしていただけるようスペースを確保してまいります。
	②	職員の配置数は適切である	6		・個別はもとより、集団療育時にはお子様を適切にフォローできるような体制をとっています。	・指導員 4 名以上を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		・手洗い場やトイレにはお子様の目線に合わせイラストを貼りだしています。 ・情報過多になりすぎないよう、教室内の掲示物には留意しています。また、お子様の特性に合わせ、掲示物やデッキ等を見えなくする配慮をしています。	・教室からのお知らせは、教室内の掲示物、公式LINE、お知らせチラシ等を活用し、発信しています。 ・今後もご利用様が安心、安全にご利用いただけるよう運営してまいります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		・朝夕、掃除を実施しており、療育後は利用した教材の消毒、換気を行います。 ・ご利用者様が入室される前に検温、手洗い、消毒	・日々、掃除・消毒・換気に心掛けており、今後も清潔な空間でお過ごしいただけるよう努めてまいります。 ・現在も指導員はマスク、フェイスシールドを着用しています（ただし運動時はフェイスシールドははずします）。

				<p>にご協力いただいています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さなお子様には、椅子に高さ調整の座布団を敷く、足台を置く等の配慮を行っています。 	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、毎日に療育内容の確認をする時間をとります。また、お子様の健康状態、前回の様子、支援の狙い等を職員間で共有する時間を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリング、カンファレンスのみならず、日常の中でも情報を共有できるよう、指導員同士が顔を合わせて話しをする機会を設けています。 ・指導員がそれぞれ係に分担されており、責任を持って教室運営にあたっています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様向けアンケート調査を実施し、その結果を公表しています。いただいたご意見は職員間で共有し、業務改善に活かしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの中のご意見のみならず、日ごろの療育の中でいただいたご感想やご意見も職員間で共有します。対処が必要な案件に関しては話し合い、速やかに対処します。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所向け自己評価表および保護者向け評価表の結果を共有し、ホームページ等で公開しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表の内容を共有し、改善点を洗い出し、職員間で話し合います。また、対処方法を検討し、支援の質の向上に努めてまいります。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、第三者による外部評価は行っておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要か否か、検討してまいります。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画のもと、研修を開催しています。また、コペルプラス本部主催の 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内研修、外部研修を受講する時間を設け、積極的に参加しています。 ・指導員同士で療育を確認し、よい部分を伸ばし、苦手

				<p>研修会にも参加しています。</p> <p>・職員間で療育を確認する時間を設け、お互いに切磋琢磨しています。</p>	<p>な分野は努力しスキルアップに努めています。</p>
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	<p>・ご記入いただいた発達段階シートの内容を確認、面談にて保護者様からのヒアリングを行い、お子様の状況を把握します。また、実際の療育の取り組み状況から総合的に検討し、支援計画に反映させていただきます。</p>	<p>・実際の療育のフィードバック時や面談等から保護者様のニーズを読み取り、また療育の時間を通じてお子様の困りごとを把握するよう努めています。</p>
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	<p>・標準化されたアセスメントツールを使用し、実施しています。</p>	<p>・アセスメントシート、アセスメントツールだけでなく、日々の療育内容をふまえてお子様の状況を把握してまいります。</p>
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	<p>・ガイドラインをもとに保護者様、お子様のニーズを把握し、具体的な支援を検討します。</p> <p>・支援内容、その手段に関しては指導員間、保護者様とも共有し計画に反映します。</p>	<p>・お子様の成長に応じて保護者様と面談し内容を検討できるよう柔軟な体制を保っています。</p>

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	<p>・療育前にどのような観点で支援を展開していくのか、職員間で確認します。</p>	<p>・毎朝、毎昼、その日に行う療育内容の確認を行います。</p> <p>・担当指導員 1 名ではフォローしきれないケースではチーム</p>
--	---	-----------------------	---	--	--

					となり支援を実施します。その際の情報は共有し、次回に活かしていきます。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・集団、月末のコミュニケーショントレーニング、イベント等担当チーム制をとっており、職員間で内容を検討し運営します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員の個性を活かし、担当制をとっています。 ・集団、コミュニケーショントレーニングではチームになり内容を検討し、実施しています。
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとに教材が変わります。また、お子様の特性に合わせて個別支援教材を組み込む等、固定化しないように工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の提示方法を変える等工夫し、お子様を飽きさせない療育を目指します。 ・職員間で療育を確認し合い、よいところを学び苦手な箇所は改善できるようお互いに切磋琢磨しています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の状況、保護者様のニーズに合わせて個別、集団活動を組み合わせています。 ・月末にはコミュニケーショントレーニングを開催し、他児との製作や運動等の時間も設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別、集団の両方に参加されるお子様に関してはそれぞれ支援の内容を検討し、支援計画を作成しています。 ・コミュニケーショントレーニングは月末に実施しており、参加されるお子様にとって楽しく新鮮な活動になるよう支援内容を検討しています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、毎昼に行うミーティングではその日の支援内容を職員間で確認し合う時間をとっています。 ・その日の支援の中で特別に注意を払う必要があるお 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様にとって安心、安全な場所であり、心地よい時間を過ごしていただけるよう、職員間で情報共有し、支援内容もしっかりと確認しています。

				子様に関して、情報を共有します。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・担当したお子様の支援内容をサービス提供記録として残し、保護者様に公開しています。 ・職員間でもサービス提供記録を確認し合うことができ、次回の支援に活かすよう心掛けています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録は必ず管理者も目を通しており、必要があれば担当した指導員から情報を得たうえで翌日の朝昼に行われるミーティングにて情報を共有します。教材の提示方法や支援内容に関して変更や修正を求める際は、指導員に投げかけ一緒に検討していくようにしています。 	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用後にサービス提供記録を作成しています。職員間でも記録は確認でき、次回の支援に反映させています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用いただいた際のお子様と指導員のやりとりの内容も含め、記録に残します。記録は職員間でも共有しており、支援の内容に反映させています。 	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一回はモニタリングを行いお子様の支援計画を見直ししています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的モニタリングを行うことによってお子様の成長の様子を把握し、職員間で情報を共有しています。また、その後カンファレンスを行い、支援計画の修正に反映させています。モニタリングの結果は保護者様にお伝えし、そこでいただいたご意見や家庭での様子を支援計画に反映させています。 	
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ直近では対象のお子様が存在せず参画の機会がありませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そうした機会があれば（昨年度は有り）職員間で対象のお子様の情報を共有した上で管理者が参画してまいります。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	3	・地域療育センターの職員の方と連絡をとり、利用状況等の把握に努めています。	・関係機関の職員の方と連絡をとり、当事業所での取り組み内容や状況をお知らせし、双方で支援内容について把握しあうよう心掛けています。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	5	・現在のところ、当事業所では医療的ケアを必要とするお子様のご利用はありません。	・今後、医療的ケアが必要なお子様のご利用も想定され、その場合の支援の在り方について関係機関の指示のもと、職員間で共有し、体制を整えてまいります。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	5	・現在のところ、当事業所では医療的ケアを必要とするお子様のご利用はありません。	・今後、医療的ケアが必要なお子様のご利用が想定される場合、主治医ならびに協力医療機関との連絡体制を整えてまいります。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・保護者様からのご依頼のもと、保育園、幼稚園へ訪問し、お子様の様子を見学し、担当の先生と情報を共有しています。 ・保育園、幼稚園の担当の先生に当事業所での取り組みをお伝えし、実際に見ていただく機会も設けます。	・保育園、幼稚園の訪問を通じてお子様の状況を把握し、連携をとって成長を見守ります。 ・保護者様のご了承を得た上で当事業所での支援計画を共有し、双方でお子様の成長を促す支援に反映させていきます。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	5	・直近では小学校や特別支援学校との情報共有の機会はありませんでした。	・保護者様からのご依頼のもと、就学先との必要な情報共有を図ってまいります。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		・保護者様より地域療育センターや他事業所での心	・地域療育センターや他事業所との連携をとり、情報共有に努めています。

				理評価表や支援計画を共有していただき、その内容をもとに当事業所の支援計画を検討することも行っております。	・心理評価表や他事業所の支援計画をいただいた際は、必ず職員間で共有しています。
⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	5	・現時点ではそうした機会はございません。	・地域のお祭りや防災訓練等に参加する機会がないか検討してまいります。

㉑	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6	・現時点ではそうした機会はございません。	・今後は協議会開催の情報収集に努め、参加する機会を検討してまいります。
㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・療育終了後に行う保護者様へのフォローバック時にお子様の状況をお伝えします。また、保護者様からも感想をお聞かせいただき、あわせて家庭での状況や困りごとをお聞きする機会を設けています。別途面談のご希望をいただいた際は、お時間を取り、しっかりお話しをうかがえるよう努めています。	・その日に行った療育内容だけでなく、家庭、保育園、幼稚園での出来事もお話しいただける機会になっており、そこで得た情報は職員間で共有します。お気軽にお話しいただけるような雰囲気作りにも気を配っております。
㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	4	・コロナ禍で行う機会をなくしてしまいましたが、以前は集団時にペアレント・トレーニングを行ってまいりました。この秋から保護者様向けの	・10月から保護者様向けの研修を開始いたしました。家庭で活用できる内容を取り入れ、ペアレント・トレーニングやアンガーマネジメント等、行ってまいります。

				研修会等を開始 予定です。	
保護者への説明責任等	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・体験レッスンの際に利用者負担をご説明いたします。 ・契約時には重要事項説明書等の書面を活用し、より詳しくご説明しております。運営規程に関しては本棚に配置しており、いつでも手に取ってご確認くださいようになっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりわかりやすい説明を行うよう心掛けております。利用者負担に関しては体験レッスンおよび契約時、また、初回療育の際にお伝えできるようになっております。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のご意向に関してはアセスメント時にお聞きしており、その後は定期的なモニタリングや面談の際にお聞きしております。 ・保護者様のご意向は職員間で共有し、支援計画に反映させるよう努めます。また、支援計画は保護者様にご説明し、同意を得ております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインをもとにして支援内容を練り、支援計画を作成します。 ・保護者様からのご意向や、お子様の特性をふまえて支援計画を作成しております。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・療育後のフィードバック時には担当した指導員が保護者様と意見の交換を行います。その際、療育内容のみならずご家庭での出来事等もお聞き 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバック時にいただいた保護者様からのご相談内容に関しては職員間でも共有します。また、保護者様からより詳しい情報提供をいただくため、かつ、対処方法をご説明するための面談も設けております。

				し、ご相談をお受けする機会があります。 ・必要に応じて面談を行い、ご相談に対応するよう努めております。	
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	・現在は開催する機会がございましたが、秋から開始予定になっております。	・10月に保護者様向けの研修会を開催いたしました。 ・今後は就学に向けての相談会等、色々と企画してまいります。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・ご相談をいただいた際は職員間で共有します。 ・気軽にご相談いただけるよう相談窓口に関して掲示しています。	・ご相談内容に関しては職員間で共有し、検討を重ねた上で対応してまいります。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・以前は季刊で教室たよりを発行していましたが、現在は、公式LINEやブログにてご家庭で活用していただけるような情報を提供しております。また、各種イベントに関しては掲示とともに公式LINEでご連絡しております。	・教室で使用している教材のご紹介、取り組み方の説明等を公式LINEやブログで提供しております。 ・各種イベントに関しては楽しく取り組んでいただけるよう指導員が工夫して立案、運営しております。お子様をはじめ保護者の皆さまにも楽しさが伝わるよう動画でも情報提供しております。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	6		・当事業所で保管する個人情報については、紙情報ものは鍵のかかる書棚に保管しております。データ化されたものはパスワード	・多くの個人情報を扱います。そこで十分に注意を払った上で管理を徹底しております。個人が特定できるものを破棄する際はシュレッダーを通し処理を行います。

				設定し、外部からアクセスできない状況にしております。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様、保護者様との意思の疎通には各々の特性を鑑み、筆談等も活用しております。 ・WEB上でも療育やお子様の状況をご確認いただけるようなシステムがあり、保護者様が閲覧可能になっております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様、保護者様とのコミュニケーションツールは柔軟に活用できるよう心掛けております。 ・お子様の場合は特性に応じてジェスチャーでしめしたり、視線を合わせて表情を用いたりする等、様々な手段を用いて意思の疎通をはかります。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在までのところ、地域住民の皆さまをご招待する機会は設けておりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りや防災訓練等に参加し、コミュニケーションを取っていく機会を模索しております。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際、保護者様にご説明しております。 ・職員間では教室内研修を開催し対応について確認します。 ・火災の訓練に関しては職員及びご利用者様にもご協力いただき、年2回以上実施しています。その他、地震・内水の避難訓練も実施しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員を防犯、感染症、防災担当に振り分け、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しております。また、毎年内容に修正箇所はないか、検討します。 ・教室研修を行い、訓練も実施しております。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	<ul style="list-style-type: none"> ・火災、地震発生時の避難訓練を 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害発生時の対応については担当者を中心に見

				中心に実施しています。職員、お子様、保護者様にて 広域避難所までの 経路確認も実施 しております。今後 は内水避難訓練 も実施してまいり ます。	直しをはかっており、その後、 職員間で情報を共有しま す。 ・保護者様、お子様のご協 力のもと避難訓練を実施して おります。
④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認している	6		・アセスメント、契 約時にお子様の健 康状態をお聞きし ております。その状 況については職員 間でも情報共有し ます。また、いただ いた情報は情報 共有システム（H U G）にも記入し 確認できるようにし ております。	・お子様の状況は契約時の みならず、日々の療育のため に来所された際にも確認して おります。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指 示書に基づく対応がされている	3	3	・アセスメント、契 約時に食物アレル ギーに関して確認 しております。しか し当事業所では食 事提供のプログラ ムは実施しており ません。	・当事業所では今後も食事 提供のプログラムは予定して おりません。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ている	6		・該当事例が起き た際は記録を残 し、今後の対応改 善点も同時に検 討します。また、内 容は職員間で共 有します。	・ヒヤリハットの事例は当事業 所で起きた内容以外にもコペ ルプラス本部に報告があがっ た他教室の内容も含め、職員 間で共有します。 ・どのように対応すべきであっ たか、しっかりと検討し今後の 発生を未然に防ぐよう努めま す。

				・記録は毎月コペルプラスの本部に報告いたします。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所内に委員会を設置しております。 ・担当を割り振っております。 ・教室内で、年 2 回以上の研修会を実施しております。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止マニュアルを読み合わせし、職員の知識向上に努めています。 ・事業所内で年に 2 回以上の研修を実施するよう年間計画を策定しております。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に身体拘束に関わる説明書をもとにご説明し、同意をいただいております。 ・身体拘束の適正化のための指針を設け、職員間で共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は身体拘束が必要なお子様への支援計画はございません。今後、身体拘束が必要な事例があった際は、速やかに保護者様へご説明し、所定の報告記録を実施いたします。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。